

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R1.10～R4.9  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学卒業後、札幌市内のファブ施設（3Dプリンターなどのデジタル工作機械や工具等を誰もが利用可能なものづくり施設）で働いていたところ、職場の先輩から「栗山町にファブ施設を作る計画がある」という話を聞き、栗山町内で行われたワークショップに参加したことがきっかけです。栗山町の担当職員から「ファブ施設を一緒につくる地域おこし協力隊に応募してみないか」と声をかけていただき、研修内容やプロジェクトに魅力を感じたこと、家族にも背中を強く押されたこともあり、応募を決心しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期終了後、栗山町から「ファブラボ栗山」運営業務と後輩隊員育成業務を受託し、2023年1月に予定されている本格運営の準備を進めています。インストラクターとして利用者のものづくりをサポートしながら、まちの課題解決を担う人材育成やプロジェクト開発、地域資源を活用した事業、プログラミング教室等の教育事業、クリエイターと連携したワークショップ開発などを行いたいです。都市部と変わらない気軽に通えるファブ施設として、地方に住む人々の「選択肢の一つ」になればと考えています。

### 活動内容

#### ●ファブラボ鎌倉での長期派遣研修

1年目は、栗山町が先進事例としている「ファブラボ鎌倉」に約1年間派遣され、MITのオンライン授業「ファブアカデミー」の受講をはじめ、OJT研修や関東圏のファブ施設等を巡るフィールドワークなどを通じて、ファブ施設の運営に必要な知識・技術の基礎を学び、関係者とのネットワークを拡げました。



#### ●ファブラボ栗山βによる試行運営と実践活動

2年目は、栗山町内の既存工房施設を活用し、「ファブラボ栗山β（ベータ）」として工作機械や工具などの貸し出しほか、誰もが気軽にものづくりを体験できるワークショップやイベントの開催など、様々なサービスの試行と実践を繰り返しながら、興味関心を高めてもらうPR活動に注力しました。



#### ●起業に向けたビジネスプラン作成と後輩隊員育成

3年目は、任期終了後においても継続して「ファブラボ栗山」の運営に関わるべく、同僚隊員と共にビジネスプランを作成し、任期中に自主事業の試行実施を行いながら「合同会社ジモトファブ」を立ち上げました。また、ラボ運営のサポートを担う後輩隊員2名の育成も進め、体制強化を図りました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) info@fablabkuriyama.jp (電話番号) 0123-76-7787

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram)



(Facebook)

